

今の自分と未来の自分

さいたま市教員等資質向上指標 (キャリアnavi) 【管理職】

職種		校長	副校長・教頭	
求められる資質		校長	副校長・教頭	
さいたま市が求める教師像：「豊かな人間性と社会性」「強い使命感と教育への情熱」「幅広い教養と実践的な専門性」を備えた常に学び続ける教師	教育に対する情熱	学校教育が担う使命と職責を深く自覚し、情熱をもって職務にあたっている。		
	素養	広い視野・高い識見	社会人としての広い視野と高い識見をもち、教育公務員としての範を体現し続けている。	社会人としての視野と識見を磨き、教育公務員としての範を体現している。
		決断する力	大局的見地から、迅速かつ的確な意思決定を行っている。	校長の意を体して、様々な状況を総合的に把握し、教職員に最善策を示すなど、意思決定を行っている。
		コミュニケーション力 (ファシリテーション能力を含む)	校内外の関係者と積極的に関わるとともに、円滑にコミュニケーションを取れる心理的安全性を確保し、相互作用を促進することで、学校の教育力を最大化している。	校内外の関係者と積極的に関わるとともに、円滑にコミュニケーションを取れる環境を整備し、学校運営改善に向けた相互作用を促進している。
		アセスメント能力	学校教育活動に関わる様々なデータや学校が置かれている内外環境に関する情報について、収集・整理・分析し共有している。	校長の意を体して、学校教育活動に関わる様々なデータや学校が置かれている内外環境に関する情報について、収集・整理・分析し共有している。
	明確なビジョンを示す力	確固たる理念をもち、アセスメントにより把握された現状を基に、具体的な目標と方策を策定するなど、学校経営方針を明確に示している。	校長の示す学校経営方針を深く理解し、全教職員に浸透させている。	
	教育の情報化の推進	教育の情報化の重要性・必要性を理解し、校内の推進体制や危機管理体制、教育課程等をマネジメントするなど、学校経営計画等に校内の情報化を位置付けている。	校長の示す学校経営計画における教育の情報化を周知し、浸透させるとともに、校内の情報化の推進体制を整えている。	
	教育課程の編成・実施及び評価・改善	児童生徒を取り巻く環境の変化や地域等の状況をとらえ、「社会に開かれた教育課程」の観点も踏まえ、学校経営ビジョンを具現化するための教育課程を編成・実施及び評価・改善し、着実に管理している。	学校経営ビジョンを実現するための教育課程の編成・実施及び評価・改善にあたり、校内組織を活性化させるとともに、教職員に適切な指導・助言をしている。	
	校内組織	自校の強みや課題を的確に把握し、それらの伸長、解決のため、教職員の能力や適性を生かした校内組織を構築している。	円滑な学校運営を行うために、教職員の役割や相互の協力体制を明確にし、校内組織を活性化させている。	
	人材育成	教職員が能力を発揮できるよう人材育成計画を作成し、受講奨励等を通して教職員の自律的な成長を促す指導・育成を適切に行っている。	教職員の能力や適性を把握し、校長の人材育成計画に基づいて、自律的な成長を促す指導・育成を適切に行っている。	
	危機管理	学校におけるあらゆる危機を想定し、それらの未然防止に万全を期するとともに、有事の際には、的確な意思決定と行動が取れるよう絶えず危機管理意識をもっている。	「危機管理対応マニュアル」「児童生徒の心のサポート 手引き」等を基に、校内体制を整えるなど、危機の未然防止・危機発生時及び事後の適切な対応を行っている。	
	人事管理	教職員の服務管理を行い、普段から教職員をよく観察し、業務の遂行状況や心身の健康状況等を把握するとともに、ワーク・ライフ・バランスの推進に積極的に取り組んでいる。	日頃のコミュニケーションを基に、教職員の業務の進捗状況や心身の健康状況等を把握するとともに、服務規律や勤務時間について、適切な指導・助言をしている。	
	児童生徒の管理・指導	児童生徒の学籍、心身の健康及び安全を管理・監督するとともに、教育的ニーズを把握し、児童生徒に適切な支援を行うために、学校外の専門機関を含めたチーム支援体制を構築している。	児童生徒の学籍、心身の健康及び安全を適正に管理するとともに、教育的ニーズを把握し、児童生徒に適切な支援を行うために、学校外の専門機関を含めたチーム支援体制づくりを推進している。	
	文書事務等の管理	文書事務、財務、施設に関する管理・監督を、適切に行っている。	文書の管理、施設の管理を徹底するとともに、適切な予算の執行・管理を計画的に行っている。	
連携・協働	校内外の関係者へ適切な情報発信及び学校経営への参画を促進し、学校経営ビジョンの共有を通じて、一体的・効果的なネットワークを構築し、連携・協働している。	構築したネットワークを活用し、校内外の関係者の状況や立場を踏まえながら連絡調整を行い、連携・協働している。		

※副校長に決裁権が与えられた項目については、該当する校長の指標についても求められる資質とする。

今の自分と未来の自分

さいたま市教員等資質向上指標 (キャリアnavi)【教諭・主幹教諭】

キャリアステージ	キャリア段階			
	採用時	基礎形成期(1年~5年)	キャリア段階Ⅱ 伸長期(6年~15年)	キャリア段階Ⅲ 充実期(16年~)
求められる資質	教育に対する知見を深め、基礎を形成する。	組織の一員として教育活動を展開し、教員としての基礎・基本を身に付ける。	組織運営に参画したり実践的な専門性を高めたりする。	組織運営を推進したり、模範となる実践を展開したりする。

さいたま市が求める教師像：「豊かな人間性と社会性」「強い使命感と教育への情熱」「幅広い教養と実践的な専門性」を備えた常に学び続ける教師	教諭に必要な素養	<p>土台となる資質</p> <p>新しい時代における教育の意義や役割の理解、法令を遵守すること及び教育的愛情をもって教育活動を展開することの重要性を理解している。</p>	<p>「令和の日本型学校教育」を踏まえた新しい時代における教育、学校及び教職の意義や社会的役割・服務等を自覚するとともに、常に学び続けようとしている。</p> <p>・自らの働き方を振り返り、日々の生活の質や教職人生を豊かにしている。</p> <p>・教育的愛情や人権意識をもち、円滑なコミュニケーションにより、良好な人間関係を構築している。</p>	<p>学校教育目標を踏まえた学級経営方針を明確にするとともに、組織の一員として役割を自覚し、他の教職員と協働して教育活動を展開している。</p>	<p>学年主任や教科主任、分掌主任として、自身や学校の強み・弱みを理解し、他の教職員との協力や関わりを通じて学校運営を推進・改善している。</p>	<p>自身や学校の強み・弱みを理解し、他の教職員と協力するとともに、業務改善を意識した環境づくりを支援するなど、学校運営の推進・改善に向けた指導的役割を担っている。</p>
	危機管理	<p>危機管理の重要性、危機発生時の迅速な行動について理解している。</p>	<p>他の教職員からの指導・助言を受けながら、危機の未然防止、迅速な対応を行っている。</p>	<p>他の教職員と連携し、危機の未然防止、迅速な対応を行っている。</p>	<p>危機の未然防止、迅速な対応、再発防止を組織的に推進するとともに、指導的役割を担っている。</p>	
	連携・協働	<p>家庭、地域との連携の重要性を理解している。</p>	<p>「地域とともにある学校づくり」を理解し、校内外の関係者と積極的に関わり、連携・協働している。</p>	<p>「地域とともにある学校づくり」を目指し、校内外の関係者と積極的に関わり、連携・協働している。</p>	<p>「地域とともにある学校づくり」を推進し、校内外の関係者と連携・協働した活動を企画・立案することができる。</p>	
	授業力	<p>学習者主体の学びを展開するために、必要となる基礎的なスキルを獲得している。</p>	<p>児童生徒の実態を踏まえ、効果的にICTを活用して「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行うなど、学習者主体の学びを展開している。</p>	<p>学校が目指す児童生徒像を踏まえ、効果的にICTを活用して「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行うなど、学習者主体の学びを展開している。</p>	<p>学校が目指す児童生徒像を踏まえ、効果的にICTを活用して「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行うなど、学習者主体の学びを展開するとともに、指導的役割を担っている。</p>	
学習指導	<p>授業デザイン</p> <p>授業設計・実践・評価・改善等の意義を理解している。</p>	<p>児童生徒の興味・関心を引き出す教材研究や、他の教師と協働した授業研究などを行いながら、授業設計・実践・評価・改善等を行っている。</p>	<p>児童生徒の実態に応じた授業設計・実践・評価・改善を推進するとともに、教科等横断的な視点や、人的・物的な体制を確保するなど、教育課程を改善している。</p>	<p>効果的な授業設計・実践・評価・改善等について後進を育成するとともに、学校が目指す児童生徒像を踏まえた教育課程の編成、実施及び改善にあたり、指導的な役割を担っている。</p>		
各教科等の専門性	<p>各教科等の授業展開に必要な基礎的な知識を獲得している。</p>	<p>各教科等の特質に応じ、資質・能力をばくくむために必要となる専門的知識を身に付けている。</p>	<p>各教科等の特質に応じた資質・能力をばくくむために必要となる専門性を向上させている。</p>	<p>各教科等の特質に応じた資質・能力をばくくむために必要となる専門性を高め、後進の指導に役立てている。</p>		
生徒指導	<p>児童生徒理解</p> <p>児童生徒理解の意義と重要性を理解している。</p>	<p>児童生徒の権利を理解し、一人ひとりに受容的かつ共感的に働きかけるとともに、他の教職員等と連携し、児童生徒のよさや可能性を伸ばす成長・発達を支援している。</p>	<p>児童生徒の権利を理解し、一人ひとりの特性や心身の状況に応じた柔軟な働きかけを行うとともに、校内外の関係者と連携し、児童生徒のよさや可能性を伸ばす成長・発達を支援している。</p>	<p>校内外の関係者と連携したチームによる支援体制をつくることとともに、児童生徒の権利の理解に基づいた、よさや可能性を伸ばす成長・発達への支援について、後進の育成をしている。</p>		
学級経営	<p>学級経営の意義と重要性を理解している。</p>	<p>共感的な人間関係をつくり、一人ひとりが自ら考え、選択し、決定できる機会を提供する集団づくりを行っている。</p>	<p>学校教育目標の実現を目指し、自己指導能力の獲得に向け、意図的・計画的・継続的な学級経営や学年経営を推進している。</p>	<p>学校教育目標の実現を目指し、自己指導能力の獲得に向けた意図的・計画的・継続的な学級経営や学年経営を推進するとともに、後進の育成をしている。</p>		
特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応	<p>特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への指導</p> <p>一人ひとりの特性等の把握と、教育的ニーズに応じた適切な指導や支援の意義と重要性を理解している。</p>	<p>一人ひとりの特性等を把握し、教育的ニーズに応じた適切な指導や支援を行っている。</p>	<p>一人ひとりの特性等を把握した上で、関係機関を活用し、組織的かつ計画的に指導や支援を行っている。</p>	<p>実態把握と適切な支援に向けた校内体制の充実を図るとともに、より望ましい指導や支援について後進の育成をしている。</p>		
ICTや情報・教育データの活用	<p>ICT活用</p> <p>学校におけるICT活用の意義や活用法、情報活用能力育成の重要性を理解し、基本的なスキルを獲得している。</p>	<p>授業や校務等にICTを効果的に活用するとともに、児童生徒の情報活用能力を育成している。</p>	<p>学校が目指す児童生徒像を踏まえ、授業や校務等においてICTを効果的に活用するとともに、児童生徒の情報活用能力の育成を推進している。</p>	<p>授業観の転換や学校組織文化の変革を見据え、授業や校務等におけるICTの効果的な活用や児童生徒の情報活用能力の育成について探究し、校内外に発信している。</p>		
教育データ活用	<p>「個別最適な学び」と「探究的な学び」の実現に向け、児童生徒の学習の改善を図るため、教育データを適切に活用する意義と重要性を理解している。</p>	<p>子どもと向き合うエネルギーを創出し、「個別最適な学び」と「探究的な学び」の実現を図るために、教育データを適切に活用している。</p>	<p>子どもと向き合うエネルギーを創出し、「個別最適な学び」と「探究的な学び」の実現を図るために、教育データを適切に活用している。</p>			

主幹教諭としてさらに必要な資質	ビジョンの具現化	校長の示す学校経営ビジョンを実現するために、組織の調整等を行い、適切な指導・助言をしている。
	教育課程の編成・実施及び評価・改善	学校教育目標を実現するための教育課程を編成し、校内の体制を整え、教育課程の実施及び評価・改善について、適切な指導・助言をしている。
	人材育成	教職員の能力や適性を把握し、キャリアステージに応じた指導・育成を適切に行っている。

今の自分と未来の自分と

さいたま市教員等資質向上指標 (キャリアnavi) 【養護教諭】

キャリアステージ	キャリア段階			
	採用時	基礎形成期(1年~5年)	伸長期(6年~15年)	充実期(16年~)
求められる資質	教育に対する知見を深め、基盤を形成する。	組織の一員として教育活動を展開し、教員としての基礎・基本を身に付ける。	組織運営に参画したり実践的な専門性を高めたりする。	組織運営を推進したり、模範となる実践を展開したりする。

さいたま市が求める教師像：「豊かな人間性と社会性」「強い使命感と教育への情熱」「幅広い教養と実践的な専門性」を備えた常に学び続ける教師	教職に必要な素養	養護教諭の職務			
		土台となる資質	学校運営	危機管理	連携・協働
	新しい時代における教育の意義や役割の理解、法令を遵守すること及び教育的愛情をもって教育活動を展開することの重要性を理解している。	「令和の日本型学校教育」を踏まえた新しい時代における教育、学校及び教職の意義や社会的役割・服務等を自覚するとともに、常に学び続けようとしている。 ・自らの働き方を振り返り、日々の生活の質や教職人生を豊かにしている。 ・教育的愛情や人権意識をもち、円滑なコミュニケーションにより、良好な人間関係を構築している。	学校教育目標を踏まえた保健室の経営方針を明確にするとともに、組織の一員として役割を自覚し、他の教職員と協働した教育活動を展開している。	分掌の中心として、自身や学校の強み・弱みを理解し、他の教職員との協力や関わりを通して学校運営を推進・改善している。	自身や学校の強み・弱みを理解し、他の教職員と協力するとともに、業務改善の意識をもった環境づくりを支援するなど、学校運営の推進・改善に向けた指導的役割を担っている。
	家庭、地域との連携の重要性を理解している。	「地域とともにある学校づくり」を理解し、校内外の関係者と積極的に関わり、連携・協働した対応をしている。	「地域とともにある学校づくり」を目指し、校内外の関係者と積極的に関わり、連携・協働した対応をしている。	「地域とともにある学校づくり」を推進し、校内外の関係者と連携・協働した活動を企画・立案することができる。	
	保健管理に関する基礎的・基本的な知識・技能を理解している。	児童生徒の心身の状態を把握し、個人情報や各種記録等を適切に管理している。	把握した保健情報を活用して、健康課題の解決に向けた組織的な取組をしている。	保健管理について、円滑に実施するとともに、後進の育成に努めている。	
	保健教育に関する基礎的・基本的な知識・技能を理解している。	児童生徒の実態に応じて、個や集団を対象にした保健教育を行っている。	児童生徒の実態に応じて、保健教育を組織的に推進している。	保健教育について、円滑に実施するとともに、後進の育成に努めている。	
	健康相談及び保健指導に関する基礎的・基本的な知識・技能を理解している。	養護教諭の専門性を生かして児童生徒の心身の健康課題を捉え、解決に向けて取り組んでいる。	児童生徒の心身の健康課題解決のために、校内外の組織を活かした取組をしている。	健康相談及び保健指導について、円滑に実施するとともに、後進の育成に努めている。	
	保健室経営に関する基礎的・基本的な知識・技能を理解している。	学校教育目標を踏まえて作成した保健室経営計画に基づき、保健室経営をしている。	関係職員と協働し、保健室経営をより効果的に推進している。	業務改善の意識をもって、保健室経営をより効果的に推進するとともに、後進の育成に努めている。	
	保健組織活動に関する基礎的・基本的な知識・技能を理解している。	校内の関係職員と連携・協働して、保健組織活動の企画運営をしている。	校内外の関係者と連携・協働して、活動内容を工夫した保健組織活動の企画運営をしている。	保健組織活動について、円滑に実施するとともに、後進の育成に努めている。	
	児童生徒理解	児童生徒理解の意義と重要性を理解している。	児童生徒の権利を理解し、一人ひとりに受容的かつ共感的に働きかけるとともに、他の教職員等と連携し、児童生徒のよさや可能性を伸ばす成長・発達を支援している。	児童生徒の権利を理解し、一人ひとりの特性や心身の状況に応じた柔軟な働きかけを行うとともに、校内外の関係者と連携し、児童生徒のよさや可能性を伸ばす成長・発達を支援している。	
	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への指導	一人ひとりの特性等の把握と、教育的ニーズに応じた適切な指導や支援の意義と重要性を理解している。	一人ひとりの特性等を把握し、教育的ニーズに応じた適切な指導や支援を行っている。	一人ひとりの特性等を把握した上で、関係機関を活用し、組織的かつ計画的に指導や支援を行っている。	
	ICTや情報・教育データの活用	ICT活用の意義や効果的な活用法を理解し、基本的なスキルを獲得しているとともに、教育データを適切に活用する意義と重要性を理解している。	保健管理・保健教育等においてICTを適切に活用するとともに、教育データを適切に活用している。		

主幹教諭としてさらに必要な資質	ビジョンの具現化	校長の示す学校経営ビジョンを実現するために、組織の調整等を行い、適切な指導・助言をしている。
	教育課程の編成・実施及び評価・改善	学校教育目標を実現するための教育課程を編成し、校内の体制を整え、教育課程の実施及び評価・改善について、適切な指導・助言をしている。
	人材育成	教職員の能力や適性を把握し、キャリアステージに応じた指導・育成を適切に行っている。

今の自分と未来の自分と

さいたま市教員等資質向上指標 (キャリアnavi) 【栄養教諭】

キャリアステージ	キャリア段階			
	採用時	キャリア段階Ⅰ 基礎形成期(1年~5年)	キャリア段階Ⅱ 伸長期(6年~15年)	キャリア段階Ⅲ 充実期(16年~)
求められる資質	教育に対する知見を深め、基盤を形成する。	組織の一員として教育活動を展開し、教員としての基礎・基本を身に付ける。	組織運営に参画したり実践的な専門性を高めたりする。	組織運営を推進したり、模範となる実践を展開したりする。

さいたま市が求める教師像：「豊かな人間性と社会性」「強い使命感と教育への情熱」「幅広い教養と実践的な専門性」を備えた常に学び続ける教師	教職に必要な素養	土台となる資質	栄養教諭の職務							
			学校運営(給食室)	危機管理	連携・協働	食に関する指導(給食の時間の指導)	食に関する指導(教科等の指導)	食に関する指導(個別的な相談指導)	学校給食の管理(栄養管理)	学校給食の管理(衛生管理)
		新しい時代における教育の意義や役割の理解、法令を遵守すること及び教育的愛情をもって教育活動を展開することの重要性を理解している。	「令和の日本型学校教育」を踏まえた新しい時代における教育、学校及び教職の意義や社会的役割・服務等を自覚するとともに、常に学び続けようとしている。 ・自らの働き方を振り返り、日々の生活の質や教職人生を豊かにしている。 ・教育的愛情や人権意識をもち、円滑なコミュニケーションにより、良好な人間関係を構築している。	組織の一員として教育活動を展開し、教員としての基礎・基本を身に付ける。	自身や学校の強み・弱みを理解し、他の教職員との協力や関わりを通じて学校運営及び給食室運営を推進・改善している。	自身や学校の強み・弱みを理解し、他の教職員と協力するとともに、業務改善を意識した環境づくりを支援するなど、学校運営及び給食室運営の推進・改善に向けた指導的役割を担っている。				
		学校組織や校務分掌、給食室運営に関する基礎的・基本的な知識・技能を理解している。	学校教育目標を踏まえて給食業務や食育指導の方針を立て、組織の一員として役割を自覚し、給食室運営をしている。	自身や学校の強み・弱みを理解し、他の教職員との協力や関わりを通じて学校運営及び給食室運営を推進・改善している。	自身や学校の強み・弱みを理解し、他の教職員と協力するとともに、業務改善を意識した環境づくりを支援するなど、学校運営及び給食室運営の推進・改善に向けた指導的役割を担っている。					
		危機管理の重要性、危機発生時の迅速な行動について理解している。	他の教職員と連携し、危機の未然防止、迅速な対応を行っている。	危機の未然防止、迅速な対応、再発防止を組織的に推進している。	危機の未然防止、迅速な対応、再発防止を組織的に推進するとともに、指導的役割を担っている。					
		家庭、地域との連携の重要性を理解している。	「地域とともにある学校づくり」を理解し、校内外の関係者と積極的に関わり、連携・協働した対応をしている。	「地域とともにある学校づくり」を目指し、校内外の関係者と積極的に関わり、連携・協働した対応をしている。	「地域とともにある学校づくり」を推進し、校内外の関係者と連携・協働した活動を企画・立案することができる。					
		特別活動としての給食時間の指導内容について理解している。また、指導に必要な基礎的なスキルを獲得している。	年間計画に基づき、献立と関連づけた指導を行うとともに、学級担任に資料を提供している。	給食の時間における指導を食に関する指導の中核に位置づけ、学校教育活動全体で体系的な指導を実施している。	給食時間の指導の実践や経験を他校の栄養教諭に伝え、指導・助言している。					
		食に関する指導内容や食に関する健康課題について理解している。また、授業展開に必要な基礎的なスキルを獲得している。	食に関する指導の全体計画の作成に参画し、様々な教科等で児童生徒の実態に応じた指導を実践している。	様々な教科等の目標と食に関する指導を関連させ、学校教育活動全体で体系的な指導を実施している。	教職員や関係機関との交流を積極的に行い、食に関する指導の幅を広げるとともに、後進の育成に努めている。					
		個別的な相談指導に関する基礎的・基本的な知識・技能を獲得している。	食に関する健康課題を有する児童生徒への個別的な相談指導をしている。	発達段階や健康課題を踏まえた個別的な相談指導、校内の支援体制づくりをしている。	関係機関等と連携した対応、専門性を生かした指導・助言をしている。					
		学校給食の栄養管理者としての役割や、計画的・組織的な栄養管理について理解している。	指導に生かせる「生きた教材」となるよう年間計画に基づいて献立を作成している。	学校給食に関する新しい動向や研究成果を積極的に取り入れ、特色ある学校給食の提供に生かしている。	市の学校給食の向上のため、他校の栄養教諭に指導・助言している。					
		学校給食の衛生管理は、学校給食衛生管理基準に基づき、適切に行うことを理解している。	学校給食衛生管理基準に基づき、適切に管理している。	学校給食施設・設備等の衛生管理上の課題を把握し、改善している。	これまでに培ってきた衛生管理の実践や経験を他校の栄養教諭に伝え、指導・助言している。					
		児童生徒理解	児童生徒の権利を理解し、一人ひとりに受容的かつ共感的に働きかけるとともに、他の教職員等と連携し、児童生徒のよさや可能性を伸ばす成長・発達を支援している。	児童生徒の権利を理解し、一人ひとりの特性や心身の状況に応じた柔軟な働きかけを行うとともに、校内外の関係者と連携し、児童生徒のよさや可能性を伸ばす成長・発達を支援している。	校内外の関係者と連携したチームによる支援体制をつくることと、児童生徒の権利の理解に基づいた、よさや可能性を伸ばす成長・発達への支援について後進の育成をしている。					
		特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応	一人ひとりの特性等を把握し、教育的ニーズに応じた適切な指導や支援の意義と重要性を理解している。	一人ひとりの特性等を把握し、教育的ニーズに応じた適切な指導や支援を行っている。	実態把握と適切な支援に向けた校内体制の充実を図るとともに、より望ましい指導や支援について後進の育成をしている。					
		ICTや情報・教育データの利活用	ICT活用の意義や効果的な活用法を理解し、基本的なスキルを獲得しているとともに、教育データを適切に活用する意義と重要性を理解している。	栄養管理や食に関する指導等においてICTを適切に活用するとともに、教育データを適切に活用している。						

主幹教諭としてさらに必要な資質	ビジョンの具現化	校長の示す学校経営ビジョンを実現するために、組織の調整等を行い、適切な指導・助言をしている。
	教育課程の編成・実施及び評価・改善	学校教育目標を実現するための教育課程を編成し、校内の体制を整え、教育課程の実施及び評価・改善について、適切な指導・助言をしている。
	人材育成	教職員の能力や適性を把握し、キャリアステージに応じた指導・育成を適切に行っている。